

ノルツキーの大会講座



平成19年2月22日～3月4日に開催されるFISノルディックスキー世界選手権札幌大会について、ノルツキーが紹介します。

スキー王国
北海道として、
この大会の開催は
誇りに思うよ!

ノルツキー
NORUKKI

大会マスコットキャラクターの「ノルツキー」。北海道で親しまれているエゾシカがモデルです。

80年の伝統

ノルディックスキー世界選手権は、1924年にフランスで始まった歴史ある大会なんだ。1938年まで毎年行われ、その後、1948年～84年は冬季オリンピックを兼ねた大会を含めて2年おきに、1985年からは単独で開催されているよ。単独開催以降、アジアで開催されるのは札幌が初めてなんだね。

【大会の開催期間】

平成19年2月22日～3月4日

札幌ドームに雪が!?

サッカーのワールドカップ開催により、ヨーロッパでも知名度の高い札幌ドーム。札幌大会の会場の一つに決まり、開会式のほか、大量の雪を搬入してクロスカントリー(距離)競技のスタート・ゴールとして使用されることに。3万人の観衆の中、選手たちが熱い戦いを繰り広げるよ。



【大会の会場】

大倉山ジャンプ競技場(中央区)
宮の森ジャンプ競技場(中央区)
札幌ドーム(豊平区)
白旗山競技場(清田区)

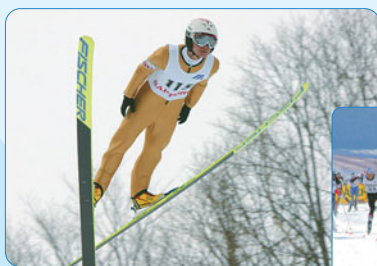


3競技18種目

「ノルディックスキー」とは、ジャンプ、クロスカントリー(距離)、そしてこの二つの競技を合わせたノルディックコンバインド(複合)の3競技の総称のことだよ。
※「ノルディック」とは「北欧人の、北欧の」の意味

【種目】

ジャンプは個人戦(ラージヒル・ノーマルヒル)とラージヒル団体戦の3種目、クロスカントリーは、男女スプリント、リレーなど12種目、コンバインドは個人戦(スプリント・距離15^{キロ})と団体戦の3種目。



SAJ18承認第0252号



日本選手のメダル

金メダルは、通算9個を獲得。1大会での最高メダル獲得数は、平成11年(99年)のオーストリア大会での6個なんだ。ジャンプノーマルヒルで、優勝・船木和喜選手、2位・宮平秀治選手、3位・原田雅彦選手と、表彰台を独占したのを覚えている方も多いのでは。

前回大会の観客は36万人

昨年2月、ドイツで開催された46回大会には、52カ国が参加。観客36万人をはじめ、選手・大会役員1,200人、各国のメディア・報道関係者1,600人以上が集まったんだって。札幌大会では市民ボランティア2,000人も活躍するよ。



札幌で皆さまにお会いすることを楽しみに



国際スキー連盟
会長

ジャン・フランコ・カスパー

2007年FISノルディックスキー世界選手権大会が、ウィンタースポーツのための素晴らしい環境を提供してくれる美しい冬のまち、札幌で開催されますことを大変うれしく思っております。国際スキー連盟(FIS)を代表いたしまして、この特別なイベントを、皆さまと力を合わせてぜひとも成功させたいと思っております。2007年の冬に皆さまと札幌でお会いできますことをとても楽しみにしております。皆さまにとりまして、2006年が素晴らしい年になりますことをお祈り申し上げます。